

SKIP シティ国際 D シネマ映画 2021

中山 秀一



映画祭ディレクター土川勉氏、プログラミング・ディレクター長谷川敏行氏、プログラマー木村祐弥子氏



記者発表の総司会を務める堀切健太氏 広報担当
 今年の「SKIP シティ国際 D シネマ映画祭」の記者発表は、去る9月1日13時30分から行われた。昨年と同様、オンライン方式による発表で、一方通行のテレビの生中継のような感じだが、最後に視聴している記者からの質問も、チャットにより受け付けた。

映画祭の開催予定は、9月の25日土曜日から、10月3日の日曜日までの9日間である。映画祭自体の開催方式は昨年と同様、期間中はオンラインで行われた。昨年は最終日の受賞式のみ、SKIP シティの映像ホールに関係者が集り、その模様は配信され、リアル&配信のハイブリットで行われた。

さて、今年で18回の実績を持つ当映画祭は、本来は7月の開催日程であったが、東京オリンピック・パラリンピックと重なり、映画祭は時期を遅らせて、9月の開催になったという経緯がある。

また、世界的パンデミックの影響で、東京オリンピック・パラリンピックが1年延期となり、当映画祭も、オンライン方式を採用し、予定通り9月に開催して成果をあげた。オンラインでも映画祭は成立するということを実証したと思う。

さて2021年、今年はどうと、東京オリンピック・パラリンピックは、大きな制約のもとに何とか終了した。しかし、コロナの感染力は容易に衰えず、緊急事態宣言が多くの地域で発令されている状況で、当映画祭はオンライン開催となった。

記者発表は、広報担当の堀切健太氏が総司会を務め、舞台には、映画祭ディレク

ターの土川勉氏、プログラミング・ディレクターの長谷川敏行氏、プログラマーの木村祐弥子氏が登壇して、今年の応募作品の紹介を行った。

☆主催者の挨拶



大野 元裕 (映画祭実行委員会会長 / 埼玉県知事)
 新たな才能の発掘を目的とするこの映画祭、今年は、104の国と地域から1,084本の作品が寄せられ、「国際映画祭」の名にふさわしく、注目や期待を集めていることを嬉しく思います。映画を通して「世界」に触れていただき、若手クリエイターの才能のきらめきを感じ取っていただければと思います。



奥ノ木 信夫 (映画祭実行委員会副会長 / 川口市長)
 昨年初めての試みとなったオンライン配信では、全国で総視聴回数8,142回を記録し、今までご来場いただけなかったお客様にも、広く作品をご覧いただける機会となりました。コロナ禍の今だからこそ、ご自宅で、世界各国から厳選された映画の数々をお楽しみいただきたいと思います。



土川 勉 (映画祭ディレクター)
 普段、私たちが訪れることのない国や地

域からの映画、そして国内外の様々なジャンルの映画をお届けいたしますので、皆様にはこれらの映画を十分堪能していただくと確信しております。



竹中 直人 (国際コンペティション審査委員長 / 俳優)
 すっげえ！、なんだこれ！、怖い！、なんて感動的！、そんな素敵な映画が、いっぱい集まってくると思います。僕は心の奥底から、その日を楽しみにしております。皆さんに出会えること、最高の映画に出会えること、とてもとても楽しみです。

☆今年のノミネート作品

- *国際コンペティション (10作品)
- ・ケンザの瞳 / 監督: エチエ・ジャンガ
 2020年 / オランダ、キュラソー / 86分
 Japan Premiere
- ・シネマ・オブ・スリープ / 監督: ジェフリー・セント・ジュールズ
 2021年 / カナダ / 105分
 Asian Premiere
- ・宴の日 / 監督: キム・ロッキョン
 2020年 / 韓国 / 108分
 Japan Premiere
- ・国境を越えてキスをして!
 監督: シレル・ペレグ / 2020年 / ドイツ
 / 105分
 Asian Premiere
- ・ルッツ / 監督: アレックス・カミレーリ
 2021年 / マルタ / 94分
 Japan Premiere
- ・鬼が笑う / 監督: 三野龍一
 2021年 / 日本 / 121分
 World Premiere
- ・ミトラ / 監督: カーウェ・モディーリ
 2021年 / オランダ、ドイツ、デンマーク
 / 106分
 Asian Premiere
- ・ライバル / 監督: マークス・レンツ
 2020年 / ドイツ、ウクライナ / 96分

Japan Premiere

・この雨は止まない / 監督: アリーナ・ゴルロヴァ 2020年 / ウクライナ、ラトビア、ドイツ、カタール / 102分

Japan Premiere

・野鳥観察員 / 監督: テレーズ・アナ 2020年 / オランダ / 89分

Asian Premiere

*国内コンペティション(長編部門)(6作品)

・バトルクライ / 監督: 谷中屋 2021年 / 日本 / 75分 World Premiere

・赫くなれば其れ / 監督: 猫目はち 2021年 / 日本 / 65分 World Premiere

・夜を越える旅 / 監督: 萱野孝幸 2021年 / 日本 / 80分 World Premiere

・アリスの住人 / 監督: 澤佳一郎 2021年 / 日本 / 64分 World Premiere

・親子の河 / 監督: 望月葉子 2021年 / 日本、インド / 67分

World Premiere

・Song for Laurel / 監督: 羽納拓末 2021年 / 日本 / 76分

*国内コンペティション(短編部門)(8作品)

・10センチの彼方 / 監督: 松井雅也 2021年 / フランス、日本 / 25分

World Premiere

・一夜二糸 / 監督: 齋藤栄美 2020年 / 日本 / 24分 Japan Premiere

・カウンセラー / 監督: 酒井善三 2021年 / 日本 / 42分 World Premiere

・冷めるのを、待っている / 監督: 佐藤杏子、岡本香音 2021年 / 日本 / 25分

World Premiere

・小山田喜久太郎 / 監督: 江沅庭 2021年 / 日本 / 35分 World Premiere

・ひびき / 監督: 川添ビラル 2021年 / 日本 / 15分

World Premiere

・OKAN / 監督: 村松健太 2021年 / 日本 / 26分 World Premiere

・リトルサーカス / 監督: 逢坂芳郎 2021年 / 日本、カンボジア / 27分

Japan Premiere

本誌がお手元に届く頃には、映画祭は終了しており、結果もでていますが、筆者が気になる作品を挙げるとすれば、カリブ海に浮かぶ島キュラソーからエントリーされた『ケンザの瞳』という作品である。

筆者としては、期待している作品だ。本誌次号で、レポートする。



©Gregg Telussa

☆ 作品紹介

カリブに浮かぶ島キュラソー。

美しい大地の映像とともに描かれる少女の強い眼差し。

向こう見ずなケンザは、厳格な警官の父と、キュラソーの伝統と精神性を重んじる祖父の3人で暮らしていた。正対な父と祖父が対立する中、ケンザは次第に祖父の説く穏やかで神秘的な島の伝統に心惹かれていく。

監督: エチェ・ジャンガ

出演: ティアラ・リチャーズ、エベロン・ジャクソン・ホーイ、フェリックス・デ・ロイー
2020年 / オランダ、キュラソー / 86分

娘とはオランダ語を使おうとする父と、現地のパピアメント語を話す祖父。この対比は、2010年に構成国となるまで、17世紀から続いたオランダ植民地時代のキュラソーの歴史を表したものであろう。そして自由な魂を持ったケンザは、この歴史を乗り越えたキュラソーの未来の象徴と言えるのではないだろうか。監督のエチェ・ジャンガは、キュラソー出身の父とオランダ生まれの母の間に生まれ、2014年の長編デビュー作『Helium』ではオランダ映画祭でふたつの賞を獲得。本作も同映画祭の最優秀作品賞を受賞、第93回米アカデミー賞国際長編映画賞のオランダ代表作品となるなど、オランダ期待の若手監督である。主演のティアラ・リチャーズは演技未経験ながら、ケンザの葛藤を見事に体現している。また、祖父役のフェリックス・デ・ロイーは詩人、作家、劇作家、映画監督、芸術家、キュレーターとマルチに活躍する、キュラソーを代表する文化人である。



監督: エチェ・ジャンガ

2010年、卒業制作として監督した『Mo』で数々の賞を受賞し、オランダ映画アカデミーを卒業。多くの短編作品を監督した後、2014年『Helium』で長編デビューを飾った。この作品は、ロッテルダム国際映画祭でプレミアされ、オランダ映画祭で最優秀撮影賞と最優秀音楽賞を受賞した。本作が長編第2作となる。

メッセージ

私は映画監督として、説明しづらいのですが、人々の違いをなくすもの、例えば愛や、神秘主義や存在のジレンマといったものを表現したいと思っています。『ケンザの瞳』では、神秘主義を前面にして、これを描きました。西洋の文化と比べ、アフロ・カリブ系の文化には、今でも神秘主義が根強く残っています。私は両方の文化を引き継いでいますので、本作ではこの対比を表現してみました。何世代にもわたり私の一族に伝わる古い奴隷たちの話を基に、物語を作りました。この物語を大きなスクリーンに映し出すことで、あまり語られてない、オランダ植民地の歴史の物語の美しさと力が、皆さんに届くことを願っています。